

表1 工法と壁強さ倍率コード表(一般診断)

	コード番号	工法の種類		壁強さ倍率 (kN/m)
土塗り壁	G100	土塗り壁	塗厚40mm以上～50mm未満 横架材まで到達	2.4
	G101		塗厚40mm以上～50mm未満 横架材間7割以上	1.5
	G102		塗厚50mm以上～70mm未満 横架材まで到達	2.8
	G103		塗厚50mm以上～70mm未満 横架材間7割以上	1.8
	G104		塗厚70mm以上～90mm未満 横架材まで到達	3.5
	G105		塗厚70mm以上～90mm未満 横架材間7割以上	2.2
	G106		塗厚90mm以上 横架材まで到達	3.9
	G107		塗厚90mm以上 横架材間7割以上	2.5
軸組	G200	筋かい鉄筋 9φ 【シングル】		1.6
	G201	筋かい鉄筋 9φ 【ダブル】		3.2
	G202	筋かい木材 15×90以上	びんた伸ばし 【シングル】	1.6
	G203	筋かい木材 15×90以上	びんた伸ばし 【ダブル】	3.2
	G204	筋かい木材 30×90以上	BPまたは同等品 【シングル】	2.4
	G205	筋かい木材 30×90以上	BPまたは同等品 【ダブル】	4.8
	G206	筋かい木材 30×90以上	釘打ち 【シングル】	1.9
	G207	筋かい木材 30×90以上	釘打ち 【ダブル】	3.8
	G208	筋かい木材 45×90以上	BP-2または同等品 【シングル】	3.2
	G209	筋かい木材 45×90以上	BP-2または同等品 【ダブル】	6.4
	G210	筋かい木材 45×90以上	釘打ち 【シングル】	2.6
	G211	筋かい木材 45×90以上	釘打ち 【ダブル】	5.2
	G212	筋かい木材 90×90以上	M12ボルト 【シングル】	4.8
	G213	筋かい木材 90×90以上	M12ボルト 【ダブル】	9.6
	G214	筋かい製材 18×89以上	【シングル】 【枠組壁工法用】	1.3
G215	筋かい製材 18×89以上	【ダブル】 【枠組壁工法用】	2.6	
壁面 1・2	G300	木ずりを釘打ちした壁		0.8
	G301	構造用合板(耐力壁仕様)		5.2
	G302	構造用合板(耐力壁仕様) 【胴縁仕様】		1.5
	G303	構造用合板(準耐力壁仕様)		3.1
	G304	構造用合板(準耐力壁仕様) 【胴縁仕様】		1.5
	G305	構造用パネル(OSB)		5.0
	G306	構造用パネル(OSB) 【胴縁仕様】		1.5
	G307	ラスシートモルタル塗り		2.5
	G308	ラスシートモルタル塗り 【胴縁仕様】		1.5
	G309	木ずり下地モルタル塗り		2.2
	G310	窯業系サイディング張り		1.7
	G311	窯業系サイディング張り 【胴縁仕様】		1.3
	G312	石膏ボード張り(厚9以上)		1.1
	G313	石膏ボード張り(厚9以上) 【胴縁仕様】		1.1
	G314	合板(厚3以上)		0.9
	G315	合板(厚3以上) 【胴縁仕様】		0.9
	G316	ラスボード		1.0
	G317	ラスボード下地しっくい塗り		1.3
	G318	構造用合板(耐力壁仕様) 【枠組壁工法用】		5.4
	G319	構造用パネル(OSB) 【枠組壁工法用】		5.9
	G320	石膏ボード張り(厚12以上) 【枠組壁工法用】		2.6
G400	不明		2.0	
G401	その他		0.0	

※壁の仕様及び壁倍率は、2012年改訂版『木造住宅の耐震診断と補強方法』(財)日本建築防災協会発行の一般診断法 表3.2「一般診断法での工法と壁基準耐力F_w」の数値を使用している。